

2025年度 看護学科 一般選抜Ⅱ期

入学試験過去問題 (解答例)

小論文

問1

読売新聞社のアンケート結果でも、1か月に1冊も本を読まなかったと答えた割合が半数を超え、文化庁の調査と同じ傾向である。ただし、本をもっと読みたいと「思う」と「どちらかといえば思う」が73%と多数で、就学前から大学生までにたくさん読んだ方が良いと考えている人が多いことがわかる。

(148字)

問2

アンケート結果でも、書店が減っていると「感じる」人が65%と多く(Q5)、実際に書店に行く回数も、「月に1回程度」や「数か月に1回程度」と回答している人の割合が多くなっている。ただ、Q7の本を主にどこで買いますかでは圧倒的に書店が多く、書店が減ることに不安を感じている人が多い(Q4)ことがわかる。この結果から、私も気軽に立ち寄れる街の書店を守っていくことが大切で急務であるとは考える。具体的には社説にもあるように、個性的な店舗を増やす、書店でのイベント開催などが現実的な取組となると思うが、根本的には国や地方自治体の援助も必要である。また、個人的に教科書のデジタル化より紙の教科書の復権を強く希望する。

(300字)